



ヴィラデステのその独特の
に溢れた庭で、アントン氏
品「クリヨン朝」。彼はモ
の手の美しさとクラシッ
ーパンの組み合わせが描き
ったという。

気鋭の画家アントン・モルナー

Anton Morner

ヴィラデステの休日



若きハンガリー人画家は、自由な表現を求めてフランスへ渡った。彼が描きたいと思うものは、彼をさまざまな場所へ誘う。ここ、イタリア北部のコモ湖畔にある美しいホテル、ヴィラデステも彼にとっては素晴らしい題材がちりばめられた、とっておきの場所。そこの休日をテーマに描いた彼と、その作品をホテルに訪ねた。

撮影：本誌・菅原幹朗 取材：文田愛美 協力：ガレリア・プロバ



カメラを使わないときはもちろんデッサン。彼は何枚も何枚も夫人のデッサンをする。ここから描きたいものの表現が決まってくる。



MAGAZINE
KATEIGAKO
JAPAN

そこでの素晴らしい休暇。そこで見るもの、食べるものを描いて、見る人がそこで過ごした思い出を共有できるような世界にしようと考えた」という。たしかに、ここを訪れた人は過ごした時間をそのまま、モルナー氏の描いた絵によって持ち帰ることができる。「彼は常に人々に喜びを与えることができるのです」とクリステイナ夫人。一番最初に作品を見て、一番率直に感想を述べる人である。「彼の作品を毎日見ることによって、その人の持つ美しいイメージや楽しい思い出を呼び起こす効果があるように思うのです。だから、本当に好きだと思えたら手もとに置いていつも作品を見てほしい。きっとその人を幸せな気持ちにさせてくれるはずですよ」。

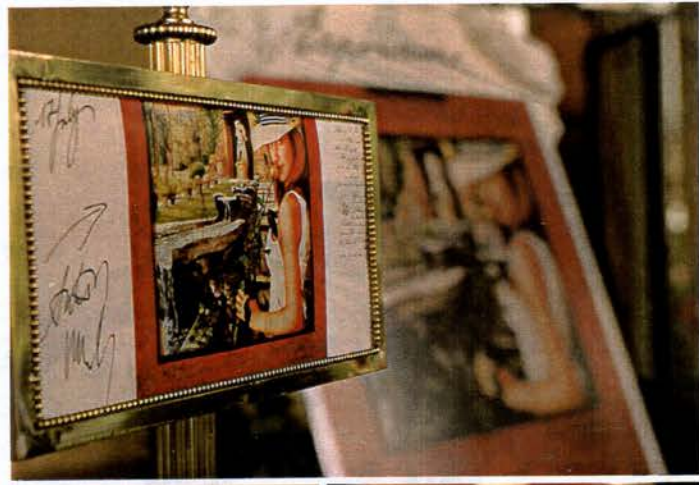
アントン・モルナー 初来日個展のお知らせ



話題の画家、アントン・モルナーが、いよいよ初来日。彼の作品世界にいち早く触れるチャンスです。

期間=11月9日~23日
10時30分~19時30分 無休
(作家来場は9日、10日の15時~19時)
会場=ギャラリー・プロバ目白店
(フォーシーズンズホテル 椿山荘 東京 ロビー階)
東京都文京区関口 2-10-8
お問い合わせ=ギャラリー・プロバ
☎03(3403)1281

後援=ハンガリー共和国大使館
協賛=BMWジャパン
協力=レストラン・アルポルト、
キャドバリージャパン(株)



個展オープニングの会場には女性の姿が目立ち、モルナー氏に熱心に質問していた。左写真の二人はシドニーから来たという。一人は現代作家のコレクターで、もう一人は25年間毎年ここを訪れ、食卓の作品(右ページ)にその25年の歳月を見る思いがしたという。

た。ここに来る人々は本当にここが気に入っているリピーターばかり。だからこそ、この作品たちは彼らに見てもらいたい」というのだ。実際、彼の作品を見た人々は異口同音に「同じ場所について同じ風景を見るというのはすごく不思議な気持ち」という。なかでも、サ

るかあるわ。伝統的な手洗を便して新しいイメージを描いているのね。モルナー氏は個展に訪れた一人ひとり丁寧な熱心に会話する。まるで受け手からもエッセンスを手に入れようとするかのように。彼の個展は次の世界を獲得する大切な場なのだ。

BIOGRAPHY ANTON MOLNAR アントン・モルナー プロフィール



- 1957年 ハンガリー、ブダペストに生まれる
- 1967年 父の赴任先であるマリ共和国へ渡る(～)
- 1979年 ブダペストの有名な芸術高等学校を首席復の仕事を経て、ハンガリー唯一の芸術で合格
- 1983年 同校を卒業。その後も3年間アカデミー画、解剖学、美術史、幾何学等多彩な分野
- 1988年 より自由な創作活動の場を求めて、妻とへ渡り、ディジョン(ブルゴーニュ地方)、ルクセンブルクで個展を多数開催
- 1992年 ビエール・カルダンと組んで、エスパー開催。以後スイス、メキシコ、香港など
- 1998年 ラッフルズ(シンガポール)、クリヨン界の名ホテルで次々と個展を開催。11月1